

神奈川県におけるミヤマチャバネセセリの分布

原 聖 樹

Seiki HARA: Distribution of *Pelopidas jansonis*
(Lepidoptera; HesperIIDae)
in Kanagawa Prefecture

セセリチョウ科のミヤマチャバネセセリ *Pelopidas jansonis* BUTLERは小形で地味な蝶である。素人目にはチャバネセセリ、イチモンジセセリやオオチャバネセセリ等と見紛らわしいが、後翅裏面中室に見られる本種特有の明瞭な白斑が区別点で、同好者間に“日の丸を付けたジェット機”とも愛称されている。神奈川県ではいささか稀な蝶であるが、最近平野部の相模川本流から新たに生息の場が見出された。岸 (1992) がこの点にも注目して本種の探索を呼びかけたのも、時宜を得たものと言えよう。

本種の県内における分布実態の大意が把握できるようになってきたのを機会に、従来の記録を整理し、分布の特異性について述べる。

本文に先立ち、文献入手の面でお世話になった鈴木明・岸一弘両氏にお礼申し上げる。

地理的・生態的分布

小仏・丹沢・足柄・箱根の各山地に分布し、低地では多摩低地・多摩丘陵・相模野台地・相模平野などの一部から知られる。いずれの地でも生息地はやや局限される傾向があり、また個体数もきわめて少ない。分布調査が比較的行届いた三浦半島、大磯丘陵や低地の大部分の地域からは未発見である。

暖温帯の照葉樹林域から冷温帯のブナ林域にかけて見られ、標高200~600mの地に記録が多い。箱根仙石原の700~800m辺りが本種の発生する上限と思われるが、飛来個体(?)と推定される成虫は乙女峠(1005m)でも得られている。分布の下限は標高20m前後の低地、相模川本流である。

調査の不徹底な丹沢山地の高地帯や多摩川の神奈川県側、相模川・酒匂川の下流部などでは、今後の探索により見出される可能性がある。ただ、そうであっても神奈川県における以上の分布態様の大意には変更を

きたさないと考えられる。

1. 記録の整理

本種の分布は後述するように河川との関連性が高いので、既知の記録を水系別に整理する。「丹沢」・「箱根」などという漠然とした分布記録は除外した。

—鶴見川水系—

多摩低地：横浜市港北区日吉町付近 (鶴見, 1954)

—多摩川水系—

多摩丘陵：川崎市麻生区黒川 (渋谷, 1974・'75・'80; 丸山, '71; 根塚, '77; 神部, '88)

—相模川水系—

相模平野：座間市四ツ谷・新田宿 (岩野, 1991; 脇, '93; 岩野ほか, '93), 厚木市上依知 (朝長, 1991), 相模原市新磯・下溝 (田中, 1978; 相模原市, '84), 同市神沢 (守屋, 1991)

相模野台地：津久井郡城山町雨降運動公園 (久保田, 1993)

小仏山地：津久井郡相模湖町寸沢嵐南畑 (岸, 1991), 同町阿津・間の山 (井上, 1972; 相模原高校, '79), 同町ピクニックランド付近 (須田, 1986), 同郡石老山 (藤岡, 1981), 同郡藤野町篠原 (伊藤ほか, 1981; 亀山, '89), 同町沢井・落合 (守屋ほか, 1972; 穴吹, 78), 同町佐野川 (岸, 1991), 同町上岩 (伊藤ほか, 1981; 亀山, '89), 同町和田峠~高岩山 (都県界尾根) (原, 1971a)

丹沢山地：厚木市広沢寺 (伊藤ほか, 1981), 愛甲郡清川村媒ヶ谷 (渋谷ほか, 1969), 同村谷太郎川 (芦沢, 1978; 岸, '91), 同村土山峠 (伊藤ほか, 1981), 同村宮ヶ瀬 (井上, 1974; 伊藤ほか, '81), 同村境沢 (岸, 1991), 同村丹沢林道 (京浜昆虫同好会, 1966; 中村, '70), 同村掛札 (伊藤, 1987b), 同村金沢林道 (穴吹, 1978), 津久井郡中津川 (高円寺中学,



図1. ミヤマチャパネセリの分布. 未発表記録(本文)を含む

1958), 同郡津久井町中野・森戸(穴吹, 1971・'78), 同町横浜水道水源地(高橋ほか, 1972), 同町水沢川倉沢(岸, 1991), 同町水沢川桃の木沢(原, 1983), 同町焼山登山口(穴吹, 1978), 同町寺入沢(伊藤ほか, 1981), 同町神ノ川(穴吹, 1978)

—金目川水系—

丹沢山地: 伊勢原市大山下社・見晴台(伊藤, 1987a), 同市大山阿夫利神社(下社)(伊藤ほか, 1981), 秦野市水無川上流(京浜昆虫同好会, 1956; 高円寺中学, '58)

—酒匂川水系—

丹沢山地: 足柄上郡松田町萱沼・寄(原, 1979), 同郡山北町皆瀬川(農大一高, 1972; 神部, '75), 同町中川(福田ほか, 1991), 同町中川温泉(相模の蝶を語る会, 1992), 同町箒沢(大須賀ほか, 1972), 同町落合〜世附・浅瀬〜広河原・広河原〜峰坂峠(原, 1968), 同町大又沢(斉藤, 1982), 同町水ノ木〜織戸

峠(山内, 1970)

足柄山地: 山北町畑沢(原, 1967), 南足柄市地藏堂(柏井, 1968)

—早川水系—

足柄平野: 小田原市板橋(平野ほか, 1958)

箱根山地: 小田原市長興山(高円寺中学, 1958), 足柄下郡箱根町強羅(小林, 1941), 同町台ヶ岳裾野(露木, 1953), 同町湖尻〜仙石原(久崎, 1931), 同町仙石原・乙女峠(牧林ほか, 1956; 高円寺中学, '58; 佐藤ほか, '59), 乙女峠付近(朝比奈ほか, 1931)

—白糸川・新崎川水系—

箱根山地: 小田原市根府川駅付近(原ほか, 1973), 足柄下郡真鶴町根府川〜真鶴駅(原, 1976)

—千歳川水系—

箱根山地: 足柄下郡湯河原町広河原・奥湯河原水源(高桑ほか, 1993)

2. 追加記録

筆者による未発表の記録を掲げる。○は新鮮、◎は鮮度中間、●印は汚損体を意味する。(目)は、ネット確認を含む確実な目撃例である。

—相模川水系—

相模平野：1♂○，愛甲郡愛川町幣山，7. VII. 1991.

小仏山地：1♂●(目)，相模湖町沼本，9. VI. 1968；1♂●(目)，同町寸沢嵐，25. V. 1970；1♀●(目)(ヤマハッカ訪花)，同町奥畑，6. VIII. 1971；1ex.◎(目)(地表で吸水)，奥畑，22. VII. 1974；1ex.◎1♂●(目)，同町橋沢，25. V. 1971；1ex.●(目)，橋沢，1. VI. 1971；1♂○，藤野町牧馬峠付近，5. V. 1982(図2の1)。

丹沢山地：1♀○，清川村媒ヶ谷，26. V. 1966；1♀○，同村谷太郎川，25. VII. 1990；2exs.◎(目)，同村物見峠～地場坂，27. V. 1966；1ex.(目)，同村七曲り，18. V. 1967；1♂◎，津久井町水沢川桃の木沢，30. VII. 1987；1♂○，桃の木沢，28. IV. 1990(図2の3)；1♂●(目)，同町早戸川魚止橋～雷平，10. VI. 1972；1♂◎(ハルジオン訪花)，同町梶野，15. V. 1983(図2の2)；1♂◎(目)3♂♂○，同町寺入沢，29. V. 1976；1♂●(目)，同町焼山ミズアビド沢，8. VI. 1974。

—酒匂川水系—

丹沢山地：1ex.○1ex.◎(目)，山北町尺里川，29. IV. 1965。

生息環境と生態

①河川敷や堤防の周辺，②河川源流部山林地帯の溪流に沿う林道・登山路や，山間地において沢沿いに立地する集落の周辺，③人が定期的に草を刈ることによって維持される山地草原などで成虫が見られ，このような場のススキ群落が本種の生息地になっている。①～③以外の場でも若干の記録が知られているが，これらはいずれも，そこからの飛来か飛火的分布である可能性が高い。

低地では4月下旬～6月中旬と7月上旬～8月上旬に採集され，年2化であることはまちがいない。9月中旬の記録が1例知られるが，これが第2化成虫なのか，あるいは部分的第3化のものであるのか現状では明らかでない。小仏・丹沢山地では4月下旬～6月下旬・7月下旬～8月下旬に記録され，年2化と思われる。箱根の芦ノ湖周辺では8月上・下旬に記録が集中

しているが，6月下旬にも得られている。同地では年1化と2化の二通りの可能性があるが，その点未確認である。

食草の記録として，渋谷誠氏により川崎市黒川においてイネ科のススキから中齢幼虫が見出されている。他にもヨシ・チガヤ等が食草になっていることは確実と考えられるが，未調査である。成虫の訪花植物としては，今のところノアザミ，ハルジオン，オニタビラコ，レンゲ，カラスノエンドウ，ヤマハッカ等が知られている。

以上のように，本県における本種の生態に関する資料は少なく，今後の調査に待つべき面が多い。

分布の史的背景

ことに，本種の低地(平野・台地・丘陵)における分布は特異である。相模川および鶴見川とその氾濫原付近(座間・厚木・相模原各市・愛川町・横浜市)と，多摩川からの飛火的分布とみられる地(川崎市)でしか本種は見出されていない。とくに横浜・川崎では希少な存在である。座間・厚木の生息地では河川敷から堤防にかけて河川敷開発と護岸工事が進行中であり，川原には運動場・自動車運転教習用地などが出来，またレジャーで車や人の出入りが激しい。このような悪環境にしぶとく生き残ることのできる本種が，河川を離れると姿を消すのは不思議である。

外観上，本種の生息環境となるようなススキ群落地は県内低地の各所に存在する。このことは山間地においても同様である。近隣地域で多摩川の東京都側や埼玉県荒川など，所によっては河川敷・堤防に個体数の多い地もあるのに，河川を離れた田園地帯・林地・郊外地や住宅地帯の空地などでは，広く東京・埼玉等関東平野を見渡しても，戦前・戦後を通して本種の記録はほとんど無い。この点，このような場から開発により次々と生息地を失い，河川に閉じ込められつつあるギンイチモンジセセリの分布とは対比的である。なお，千葉県では河川沿いのほか，海岸でマツ林内のススキ原(防風林)に産することは興味深い。

本種の分布は河川との結び付きが強い。食草・吸蜜源あるいは天敵との関連など現状でその生態に不明な点は多々あるが，本種の河川に固執する理由が環境的要因によるものだけとは考え難い。やはり，種自体の持つ内因にもからむものであろう。力強い飛翔とは裏腹に，その移動性は以外に低いのであろう。すでに分布拡大能力を衰退させた，ある意味でその分布はレリッ

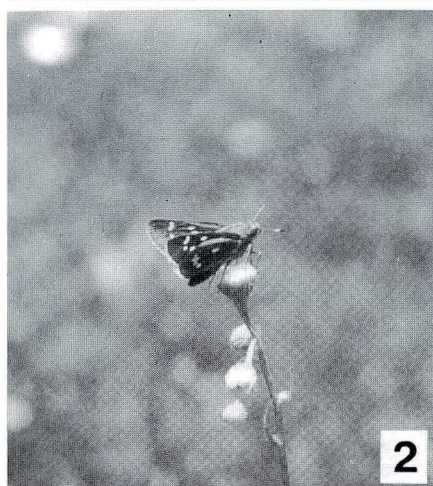
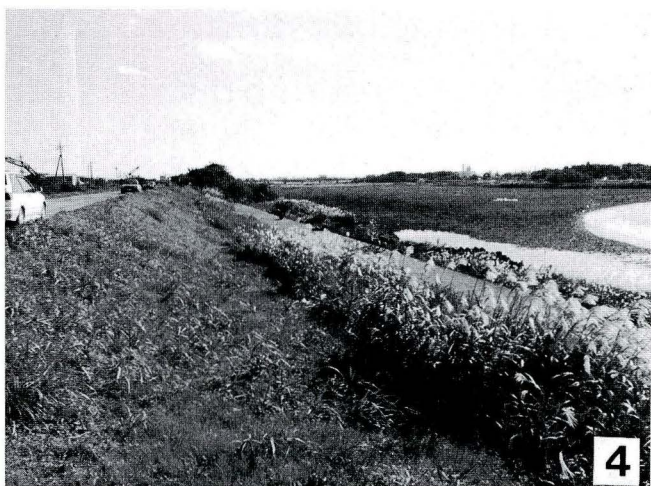


図2. ミヤマチャバネセセリと生息環境. 1～3: 成虫♂, データは本文に記載; 4: 座間市四ツ谷; 5: 丹沢桃の木沢; 6: 箱根仙石原

ク的なもののように思われる。

前述した現在の生息環境から人為的要因を除外した自然環境は、それぞれ次のようになると考えられる。すなわち、①河川の氾濫原、②河川源流部森林地帯の沢岸に、出水や崖崩れなどによって点状に生じた狭小な草地、③火山草原である。したがって、このような場が本種本来の生息環境“ふるさと”であると推定される。

だとすれば、現在の分布がこの“ふるさと”の範ちゅうを逸脱していないことからみて、歴史時代以降、とくに低地においてオープンランドの出現など人間活動によって本種の生息可能な環境が拡大されても、本種はこれに歩調を合わせることなく、本来の生息地に遺存するような状態で今日に至ったと言えるかもしれない。せいぜい、今よりも広がった氾濫原の周辺で河川の上・下流を行き来したにすぎなかったのではなかろうか？ただ、箱根の高地帯芦ノ湖周辺では、もともと草原の発達し易い立地条件に加えて人がここを草刈り場として定期的に利用するようになったことは、本種の生存をいっそう強く保証したものと思われる。

いずれにせよ、この“ふるさと”は、その形状に多少の変化はあったにせよ本質的にはそれ以前の時代、いや本種の発祥にまでさかのぼれるものであろう。

本種は相模川本流のかなり劣悪な河川環境にも生息している（前述）。しかし、これ以上開発が進めば、これも保証の限りではない。山間地でも以前に比べて見出し難くなっている。本来やや山地性で個体数の少ない種であり、都市周辺には見られないものなのでこの点はあまり顕著ではないが、やはり都市化の山間地への波及などの影響を受け本県においても最近、本種は確実に衰退の途を歩みつつある蝶と言えよう。

文 献

- 穴吹正男, 1971. 採集目録. 津久井の蝶, (1): 11-12.
穴吹正男, 1978. 虫とともに歩いて. 217 pp., 14 pls.
丹沢むしの会, 津久井.
安藤 實, 1954. 箱根仙石原近辺夏季蝶界一瞥. 神奈川虫報, (1): 1-9.
朝比奈正二郎・朝比奈英三, 1931. 八月下旬箱根乙女峠付近の蝶. *Zep.*, 3: 286-287.
芦沢一郎, 1978. 東丹沢谷太郎川の蝶. 神奈川虫報, (54): 26.
藤岡知夫, 1981. 改訂増補日本産蝶類大図鑑. 講談社, 東京.

- 福田 賢ほか8名, 1991. 付録・蝶類1988~1990. *Insect Times*, (37): 113-163.
原 聖樹, 1967. 足柄上郡山北町畑沢の蝶. 神奈川虫報, (25): 41-42.
原 聖樹, 1968. 西丹沢世附川流域蝶類分布調査報告. 相模蝶報, (2): 16-23.
原 聖樹, 1971a. 和田峠~高岩山6月初めの蝶. 相模蝶報, (12): 37-38.
原 聖樹, 1971b. 川崎市で探してほしい蝶. 相模蝶報, (13): 23-27.
原 聖樹, 1976. 根府川~真鶴8月初めの蝶. 神奈川虫報, (48): 16.
原 聖樹, 1979. 1966~67年松田町の蝶類. 神奈川虫報, (55): 28-32.
原 聖樹, 1983. 仏果山・水沢川5月下旬の蝶. 神奈川虫報, (69): 30.
原 聖樹・伊藤正宏, 1973. 根府川・真鶴8月の蝶. 神奈川虫報, (42): 34.
平野幸彦・山口 貢, 1958. 小田原市産蝶類目録補遺. 神奈川虫報, (13): 10-11.
井上恵美子, 1974. 神奈川県の夏の蝶. 43 pp. 自刊.
井上大成, 1972. 相模湖畔阿津の蝶類. 相模蝶報, (14): 28-30.
伊藤正宏, 1987a. 大山原生林の蝶類. 神奈川県指定天然記念物地域動物調査報告書, pp. 195-201. 神奈川県教育委員会.
伊藤正宏, 1987b. 丹沢掛札モミ林の蝶類. 神奈川県指定天然記念物地域動物調査報告書, pp. 275-281. 神奈川県教育委員会.
伊藤正宏・原 聖樹・山内達也・落合弘典, 1981. 神奈川県の蝶類. 神奈川県昆虫調査報告書, pp. 17-99. 神奈川県教育委員会.
岩野秀俊, 1991. 神奈川県環境部調査指定種の記録. さがみの記録蝶, (4): 54-62.
岩野秀俊・朝長政昭・牧野征太郎・脇 一郎, 1993. 座間市のチョウ類. 座間市の動物, pp. 151-192. 座間市教育委員会.
岩阪佳和, 1988. 房総半島の蝶雑記. 羽化, (16): 18-26.
亀山寿俊, 1989. ふじのの蝶. 54 pp., 4 pls. 藤野町教育委員会.
神部昭夫, 1975. 西丹沢皆瀬川流域の蝶類. 神奈川虫報, (46): 9-18.
神部昭夫, 1988. 川崎市黒川にミヤマチャバネセセリ

- 産す。神奈川虫報, (85): 31.
- 柏井伸夫, 1968. 会員からの便り。はばたき, (91): 24-25.
- 京浜昆虫同好会蝶類目録編纂委員会編, 1956. 東京神奈川蝶類目録. *Insects Magazine*, (35): 69-101.
- 京浜昆虫同好会編, 1966. 関東周辺蝶類採集案内. 137 pp., 4 pls. 同会.
- 岸 一弘, 1991. 神奈川県環境部調査指定種の記録。さがみの記録蝶, (4): 54-62.
- 岸 一弘, 1992. 神奈川のチョウ—最近の話題. 神奈川虫報, (100): 141-147.
- 小林嗣夫, 1941. 国立公園箱根の蝶類相. 昆虫界, 9 (87): 298-313.
- 久保田勝男, 1993. 城山町におけるウスバシロチョウの個体数調査. インセクトリウム, 30(10): 28-30.
- 久崎光生, 1931. 六月下旬箱根の蝶. *Zep.*, 3: 151.
- 牧林 功, 1972. 土地開発と蝶相の衰退—仙石原の場合. 神奈川虫報, (39): 1-9.
- 牧林 功・露木太一, 1956. 箱根産蝶類目録. 湘南生物研究会誌, 1(2): 14-26.
- 丸山 清, 1971. 川崎市北部の昆虫. はんみょう, (3): 21-69.
- 丸山 清, 1971. 川崎市北部の蝶. 神奈川虫報, (37): 1-8.
- 守屋博文, 1991. 相模原の昆虫. 87 pp. 相模原市教育委員会.
- 守屋博文・内田 悟・蔦野正明, 1972. 藤野町沢井付近のチョウ. 津久井の蝶, (2): 15-16.
- 中村一男, 1970. 蝶の記録4つ. *Insects Magazine*, (76): 208.
- 根塚幹雄, 1977. 川崎市多摩区黒川と柿生の最近8年間の蝶類の記録. 神奈川虫報, (51): 9-17.
- 農大一高生物部昆虫班, 1972. 西丹沢皆瀬川流域の昆虫相. *Field*, (19): 28-32.
- 大須賀英郎・桑原直己・志賀 隆, 1972. 丹沢山塊に於ける蝶の分布に関する調査と考察. *Snock*, (12): 50-56.
- 相模原高等学校, 1979. 津久井の蝶. 北相の自然, (20): 17-23.
- 相模原市動物調査委員会, 1984. 相模原の動物生息状況調査報告書—第1報蝶類について. 45 pp., 2 pls. 同会.
- 相模の蝶を語る会事務局, 1992. 第2回丹沢「蝶類」調査会記録集. さがみの記録蝶, (6): 113-117.
- 斉藤真悟, 1982. 西丹沢に蝶・蛾を求めて. 羽化, (11): 38-43, グラフ.
- 佐藤政男・小川恭二, 1959. 林間講習会蝶類採集報告. 複眼, 6.
- 渋谷 誠, 1974. じゃのめちょうのいる町—川崎の蝶 1974年の調査報告. 神奈川虫報, (45): 1-27, pl. 1.
- 渋谷 誠, 1975. 川崎の蝶の生態一束. 神奈川虫報, (46): 25-130.
- 渋谷 誠, 1980. セセリ雑記. 昆虫と自然, 15(6): 27-30.
- 渋谷 誠・鈴木利幸, 1969. 神奈川県産蝶類訪花資料. 相模蝶報, (5): 20-22.
- 須田真一, 1986. 神奈川県相模湖付近のチョウ (No. 1). *Natural History*, (3): 9.
- 高橋・脇坂, 1972. 横浜水源地での蝶採集記録. (三多摩) 虫界速報, 3(1): 19.
- 高桑正敏, 1993. 東丹沢とくに宮ヶ瀬周辺の昆虫相. 日本自然保護協会報告書, (73): 92-100.
- 高桑正敏・中村進一, 1993. 黒須コレクション中の神奈川県およびその周辺のチョウ類標本. 神奈川県自然誌資料, (14): 67-72.
- 田中淑喬, 1978. 相模原市南部 (大沼・麻溝台・上鶴間地区) に産する蝶類について. ぞうき林, (2): 8-16.
- 東京都杉並区立高円寺中学校生物部編, 1958. 南関東の蝶類 (1) セセリチョウ科. 44 pp. 同部.
- 朝長政昭, 1991. 神奈川県環境部調査指定種の記録. さがみの記録蝶, (3): 43-46.
- 鶴見秀文, 1954. 日吉産蝶類目録. ユーグレナ, (4): 4-12.
- 露木太一, 1953. 夏季学校蝶採集記. しろだも, 5(1).
- 脇 一郎, 1989. 神奈川県におけるギンイチモンジセセリの記録について. 神奈川虫報, (90): 98-108.
- 脇 一郎, 1993. 神奈川県県央地区における蝶の記録 1981~1990. さがみの記録蝶, (7): 123-154.
- 山内英男, 1970. 西丹沢蝶類分布調査報告. 相模蝶報, (10): 1-24.

(神奈川県蚕業センター)